

令和2年度入試【推薦入試Ⅰ】

【小論文1】

(法文学部)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は4ページである。解答用紙は1枚、下書き用紙は1枚である。
指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

小論文 1

次の文章を読んで、問1～2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

竹内裕二『地域メンテナンス論』より（一部改変）。

(注)

- 1) 市民・・・本文で表記される「市民」と「住民」の使い分けである。ここでの「市民」は一般的な人々全体を指す広義の人々、「住民」はある地域に住む人を指す狭義の人々である。
- 2) 結・・・田植えのときなどにお互いに力を貸しあうこと。
- 3) もやい・・・2人以上の者が一緒に仕事をすること。共同。部落内の共同作業。利益の共同分配。船と船をつなぎあわせる「帆い」からきた言葉ともいわれる。
- 4) パラサイトシングル・・・経済的に余裕のある親と同居する未婚の若者。

問1 下線部について、自治組織が崩壊しつつある現代社会ではなぜ難しいと筆者は考えているのか説明しなさい。

問2 筆者が考えるこれまでのまちづくりのあり方の問題点を指摘しなさい。その上で、これからまちづくりはどうあるべきか、あなたの考えを具体例を挙げつつ述べなさい。